

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 第9号

2009.10.28
第9回会議
未来創造会議
第2幕
スタートの巻

未来創造会議からの提言を受け、市で議論・整理された基本構想案がまとまり、このたび第9回会議が開催されました。いよいよ「きたかみ未来創造会議（第2幕）」のスタートです。

■第9回「きたかみ未来創造会議」の概要

はじめに、北上市企画部政策企画課長より、今回の計画づくりは市民参画を基本として「未来創造会議」との連携と協力のもとに進められてきたことから、計画案作成に係る取組への御礼とともに、これから、基本構想の実現を目指し、市民と共有できる成果指標づくりなど新たな展開に向けたあいさつがありました。

事務局からは、提言を受けてから今回までの経過と、これから検討する基本計画策定に係る未来創造会議の役割について説明がありました。

これからのまちづくり（行政経営）においては、PDCAサイクル（計画→実施→評価→改善による進捗管理）それぞれに市民参画を積極的に取り入れた運営が必要であることから、今回の未来創造会議では、市民目線でのよりよい公共サービスが提供されるための仕組みづくりに向け、市民と行政と一緒に施策事業の成果をはかる「ものさし（指標）」や「役割分担」について検討していくことが説明されました。

その後、いわてNPO-NETサポートの高橋敏彦主席研究員より「なぜ、まちづくりの指標が必要なのか」岩手県での取り組み例を踏まえた情報提供がありました。

その中では、市民と行政の共通の「ものさし」をつくることによって、より施策事業の有効性がはかれ、優先順位がつけられること、まちづくりの成果においては、そこに住む市民の視点による評価が大切であることが話されました。

後半戦は、班別に分かれて検討を行いました。今回から、さまざまな市民視点を組み合わせた検討を行うため、これまでの専門分野の班を再編成しました。

グループワークでは、新しい班のスタートということで、自己紹介と今年度の意気込みの発表、各班で検討する「分野」の検討を行いました。

そして、分野選択のドラフト会議です。各班が選定した第1希望分野から、重複した場合には抽選となり、ハラハラドキドキの分野決定となりました。

次回会議では、基本構想で作成したまちづくりの目標を分野別により詳しく具体的にし、ありたいまちの姿を明確化する作業となります。北上市がよりよいまちになるための計画づくりの新たなスタートです。これからまた、よろしくお願ひします。

【次回案内】

●日時：11月9日（月曜日）18：30～

●場所：北上市役所5階会議室（市役所地下1階夜間受付入り口より庁舎にお入りください）



これまでの経過説明



情報提供



新しい班構成での議論



分野決定のドラフト会議

<今年度の意気込み！！>

○意気込み

- ・ 他人の話をよく聞く。真剣に考える。我を張らない。
 - ・ 責任重大な任務となってきたのがひしひしと伝わっている。最後まで参加して目的を達成できたらと思う。
 - ・ 忙しいなか、なんとかやりとげたいです。
 - ・ 欠席せず、話し合いや発表をよく見聞きしわかるように努めたい。
 - ・ 今年と言いますが、今年から参加なので、わからないことだらけです。初参加につきいたらないこともあるかと思いますが、初参加なりの視点を持ってガンバリマス。
 - ・ 市は率先して公民館を指定管理者制度を行った。地域のことは地域で、との大きな目標に向かって、皆で創る北上市の未来に少しでも手助けできればと思う。
 - ・ 未来を創造できるような楽しく進行できるようにしたい。出席者が多い班でありたい。
 - ・ 現在の10歳代の市民の評価に耐える総合計画と指標を創ることが出来れば幸せです。(10～20年後の大人)
基本は「困っている人を出さないこと」の指標を創りたい。
主観指標に大いに興味あり。
風邪をひかずに完走できること。
 - ・ 出来る事を必ずやる。行動と資金を合わせた取り組み又は別々に出来る事の区別をはっきりさせる。
 - ・ 今後、実施される地域での指標作成の参考にしていきたい。若い人に指導をしてもらいたい。
 - ・ 指標→むずかしいイメージでも楽しんで考えていきたい&休まない！
- 期待すること
- ・ この会議の中味が会議に終わらないように計画書には創造会議のメンバーも示されたい。

- ・ グループ内で意見を言う、聞く、ことができれば良いと思う。
- ・ みんなの意見を聴く（聴ける）ことです。
- ・ 農商工連携で産業全体の発展を。子育てしたい、障害者も高齢者も住みたいと思われるまちに。

<ふりかえりカードから>

○新しいグループそして新しい分野、ドキドキハラハラ、最後まで参加していきたいと思う。

○久々の会議でした。前回より重く感じられる今後ですが、楽しく考えられるよう行きます。

○事務局はもっと平易な言葉で説明する工夫がほしい。これは特定の一部市民を対象としているのではなく、“ふつうの市民”の話し合いであるはずだから。

○公務でどうしても出席できない場合を除き、できるだけ参加したい。

○グループが最終まで変わらないとのこと。他グループとの交流も大事と思う。時には2つのグループが一緒になって討議する事もあって…。

○10年後の指標を見ると、社会情勢等見えない部分もあるが、現状を重視してじっくり取り組む。
市長がかわった場合のマニフェストとの関係はどうなるか。

○面白がって北上方式の指標を創ることができれば幸せです。計画が実践される10～20年後の市民である現在10代以下の人々の評価に耐えるのか、その社会感があるのかと自問しています。

○情報提供、勉強になりました。また新たなグループになり、出会いもありでワクワクしています。次回もよろしく願います。

○今回から参加したので、まだよく見えていないのですが、自分なりに消化しながら進めていきたいと思います。

○第2ステージも休みなしで参加したい。新しい班でガンバルぞ！！

○今まで話し合ったことのない分野なので、今後、皆さんの考えを聞き、地域づくりに生かしていきたいと思います。

○人と情報が集まる所には必ず夢と希望と感動があると信じています。この会議が素敵にきらめくことを願います！！情熱の感染で一緒に頑張りましょう。

○初参加でしたので、どういうものかわからずドキドキでしたが、今日は分野を決めるだけだったのでほっとした。次回も勉強するつもりでがんばります。

○可能な限り欠席者のない方策がないものだろうか。(特に該当班)

○前回とは違って、第2弾は始めからちょっとムズかしい。頭がついていけるかどうか今から心配なところもあるがガンバロウ。

○考える時間が欲しい。事前に課題や資料をいただければと思います。

○新米です。従来の会議の内容を理解し、よりよい指標を定めていきたい。

○具体的な指標づくりのために、今年度も休まず参加したいと思います。

○指標づくりは、事務事業の優先順を定める尺度を求めるものとしては重要であることは理解できる。しかし、これまでの施策づくりは世界のセンサスとか地域力などと呼称される指標をベースとして形づくられてきたので、この指標をまずゼロベースで見直すという大胆な作業が必要となってくる。加えて、60人の作った指標は全市民の合意のものでないところが弱点となろう。

○今日も元気でよかった。新しいメンバーも入ってよかった。また次回も来られるようにがんばりましょう。

○総合計画と地域計画の整合性をどう調整するのか今後の指導を願いたい。

○昨年、皆さんで話し合った内容がここまでまとめられていて参加された方々は充実感を感じられたのでは…と思いました。多くの方がこれに関わればいいなあ、関わってほしいと思いました。

○今回のグループワークで推進体制に割り当てられました。JCの協働と通じるものがあるので、ぜひ活用したいと思います。

○今回からファシリテーターとして参加することになりました。皆様の暖かい見守りの中で進めることができました。ありがとうございます。

○初参加ですが、生活するうえでの問題解決の糸口を多くの方々で見つけていきたいと思います。

○和やかな空気で、グループワークもスムーズに進んだ。今後、具体的で良い議論ができるとうよいと思います。

○自分の専門分野ではないが、専門ではない視点から意見を出していき、それが生きればよいと思う。

○これからの作業のイメージがはっきりとしてよかった。指標の必要性について理解を深めることができてよかった。ex. 指標→評価→計画→予算…。